

さ ざ ん か

第80号、2008年6月

鬱陶しい梅雨空が続いています。まあ梅雨は梅雨らしくあっていいのですが、一昨年のような集中豪雨にならないように祈っています。沢山降るときの雨の降り方が南方のスコール並みになってきているのはやはり温暖化現象なのでしょうか。でも子供の頃遭遇した夕立もなかなかの豪雨でしたので実はそうまで変わってないのかもしれませんが。

それにしても世の中、だんだんと暗い方向に向かいすぎてないかと思いませんか。石油は上がる（昨年1月1バレル50ドルだったのに6月末でなんと140ドルです）し、それに関連してかどうか、バイオ燃料確保のためにとうもろこしの作付けが増え、その分大豆畑が減り、家畜の飼料や大豆などの価格が上昇するなどなんか「風が吹けば桶屋が儲かる」並みの連鎖が続いています。石油価格上昇は燃料代を直撃し、漁業や運送業を直撃しているようです。飼料代は農家や酪農家を襲う。遠い将来的には石油以外の代替エネルギーが開発されるのですが、それまでは資源のないわが国ではじっと我慢、そして知恵と工夫が必要と言うことなのでしょう。忍耐力と知恵は日本人の優れた特性ですから、長期的には必ずしも悲観的にならなくて良いのかも知れません。しかし、食料はきちんとした国の政策でもう少し自給率を上げることができるのではないのでしょうか。人間、最後は食べ物です。石油がなくても不便（燃料だけでなく多くのプラスチック、発砲スチロールなどの化学製品も石油からできてますから）ではあるけれども生きていけますが、食べものがないと生きていけません。外国に依存しなくても生きていけるだけのモノは自国で産生する必要があります。多くの先進国（アメリカ、ドイツ、フランスなど）は食糧自給率は100%以上を確保しています。これは国民の生命を守るという観点からは、武器を増強したりお金を溜め込むよりも、じつは最大の安全保障でもあるのです。農業、畜産は国の根本であるという当たり前のことをもう一度考え直したいものです。日本一の畜産王国の鹿児島が貧しいというのはなんとも寂しいことです。

俳句

西屋敷 喜美子

荒畑に 光放つや 初螢

髪洗ふ 温度調節 ままならず

年金の 暮らし静かに 新茶飲む

病院からのお知らせ

- * 外科部長、小児科医師が交替しました。外科部長は中島三郎先生、小児科医師は塗木雄一朗先生です。よろしくお願いいたします。
- * 毎週第3金曜日の血液外来は前院長の野村紘一郎先生の担当になります。
- * 4月から研修医が当院で1年間の研修を開始しております。米澤英理先生です。よろしくお願いいたします。
- * 4月から脳神経外科の外来担当がかわっています。詳しくは脳神経外科外来でお尋ねください。常勤2人体制が常勤1人体制に変わったことによるものです。
- * 外来の採血開始時間は午前8時開始になっております。朝食抜きの採血があるときは早めに来院して採血をすませ、診察時間が来るまでのあいだにゆっくりと朝食を取っていただけたらと思います。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみてもいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることがあるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * マルチスライスCTで、心臓冠動脈造影もできます。心臓カテーテル検査の代わりにもなることもあります。遠方まで心臓カテーテル検査にいられる方は是非ご検討下さい。その他全身の血管撮影に威力を発揮します。人は血管と共に老いる、といいます。MR血管撮影とあわせて利用できます。ご相談は各科の主治医にどうぞ。心臓の冠動脈造影のときは1泊2日の予定でお考え下さい。下肢の血管造影もCT、MRIを利用して可能です。
- * 一階売店近くのロビーに「創作ひばり会」の盆栽が展示してあります。日本人の粋を代表する芸術ですのでゆっくり「盆栽ワールド」をご堪能下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。

年をとってなぜ悪い 宮園辰夫

寝たきり老人は、高齢人口の5%くらいだという。先日テレビの放送があった。すぐボケとか、寝たきりというふうに連想しがちだが、多くの方は健康に年を取っている可能性が高い。そこで前期、後期という分かれ方をしなければいけないのか、ちょっと分からない。

こうした多くの人の気持ちは「まだ働きたい」とか「家族と一緒にいたい」「本も書いてみたい。たくさん本を読んでもみたい」とか考えてはいるが、運悪くボケたり、寝たきりになったら諦めも必要かも知れない。今の75歳以上の方、戦中、戦後を支えてくれて、今の日本があるわけで、それを今更、姥捨て山とは誠に悲しい。今の国会議員の方も人の子、人の親であって何時かは年を取っていく。年を取ることが悪いのか、その時に分かるであろうか。昔の第一高を卒業された方は何人いるか。その方々は賢い。鹿児島は七高でしたがそんなに大勢の方は残っていらしゃらないだろう。今の大学とは程度が違う。先日、旧制の五高、今の熊大の博士が色々話をされていましたが、全然想像もできないと話されていました。若い時からきちんとしたことをしていれば誰か面倒を見てくれるだろう、年を取ってやがて迎えが来るのは、人間絶対に避けることができない。だから老いていくことを楽しめばいい。

年を取ってなぜ悪い、の心が必要だ。いくつに見えますか、なんて聞く人は余り好きじゃないからうんと多めに年を言ってやると、相手はがっかりする。ほとんどは十歳くらい若く見えると言ってもらいたい。自分の年を素直に言えないだよな。俺は違っているのか、適当に頑固で、適当に素直な性格の年寄りに？先日同級生のオヤジさんが、96歳でなくなった。そりゃ、頑固で強情で人の意見なんて勿論聞く人じゃなかった。同級生に聞いたら、自分の親なのにホットしているなんて。他人の私がかえって悲しくなった。エンマさまというお方は恐ろしいけど、ケッコウお人好しなんだがなあ。どんな頑固なジジイ、ババアでも引き取って下さるんだから。人生、色々あらあな、どんな高齢と言われてもうんと長生きしてやるぞ、こんちくしょう。

短歌

又新しき昭和火口 灰の見え乍ら 桜島に日差す時優し
今もまだ被爆手帳海外からも取得申請続く悲しさ

さつま狂句

夢は^{ふと}大志持てち言われて^て社会見たや

勿^{あつたれ}体無ち捨せきらんじ^ち塵の山

交通ルールを守ろう カラーマン（とその女）

先日のゴールデンウィークでのことである。所要があつて福岡市までいっての帰りみち。高速道路はすごい渋滞とまではいえなかったが、車が多くて下りの2車線とも列を成して走っていた。走行車線は大体80キロ/時前後、追い越し車線は100キロ/時前後で殆ど一定の速度で走っていた。急ぐ状況でもなかったのも車内の会話を楽しみながら、流れに乗ってゆっくりとホンダアコードを走らせていた。人吉のトンネル群を過ぎて、えびのインターを過ぎたあたりから車が少し減ってきた。鹿児島、宮崎の県境を越えて鹿児島県内に入った頃からさらに車は少なくなり車列も間があき、追い越し車線は比較的すいてきた。（日頃、節操なくスピードを出すあなたにしては珍しいわね。だいたい、車のスピードを出すことをカッコいいと思っている節があるわ、あほな男の人のほどね。自分の力じゃなくて、エンジンの力だということが分からないのかしら。自分の足では100メートル競走はとろとろと走るくせにね。）

惰性で前の車（トヨタウィッシュ）の後をついてずっと走っていたが、ふとスピードメーターをみると120キロ/時であった。えびの一鹿児島間は制限速度が80キロ/時であるから40キロオーバーである。つかまれば一発免停。まあでも流れもスムーズだししばらくはウィッシュについていけばいいやと思ったその時、バックミラーを見ると白い大型の車がすごい勢いで追い越し車線を走ってきた。こちらは120キロ/時なのでおそらく140から150キロ/時であろう。ベンツかクラウンかセルシオあたりかなあ。

おおこれは速い車が後ろからせまって来たぞ、道を譲ってやろうと思ひ、さっと走行車線にアコードを戻す。あつという間にその白い大型車はこちらの車と並ぶ。そこですぐに追い越し車線を走って先に行くだろうと思っていたが、なかなか先に行かずに走行車線上のこちらの車と並行して走るのだ。先行していたウィッシュは随分先にいってしまった。多分その間、3,4秒だろうか。何故あれだけすごいスピードで走ってきたのに、こちらと並んだ途端にスピードを落として並んで走るのか。そのことに何か意味があるのだろうか。もしかしたら、ここまで来る途中でこちらが無理な運転をして相手の気分が害するようなことがあり、そのことに対する抗議だろうか。だとするとそんなことをするのはもしかしたらヤクザ屋さんか。そんな事を考えながらこわごわと顔は正面を向いたまま横目でチラッと隣の車を見る。白い大型車の助手席にはパンチパーマ頭の怖そうな男がこちらを睨んでいた。うっ、や、やはりそうなのか。どこで何をした？いつのことだったろうか？ 小心者の私はドキッとす。（だいたい弱い犬ほど吠えたがるっていうものね。ドキッとすくらいなら始めからスピードを出さないと走ればいいのか。）

昔の悪夢が蘇る。そう、あれはもう20年以上前。まだ九州自動車道が八代とえびのの間は開通しておらず、福岡から鹿児島に帰るときは、八代インターでおりて、球磨川沿いの

国道をくねくねと人吉に向けて走ったものだ。当然、道は片側一車線で追い越し禁止の黄色のラインがセンターラインとして引いてある。夏の夜のことであった。前を走る車が余りにも遅く、当時若かった私はイライラしていた。割りに見通しの良い直線部分でそのとろい車を一気に追い越した。もちろん追い越し禁止区間であり交通違反ではあるが、それは夜中で車が殆ど走らない田舎の国道であれば、まあ許せる範囲であろう。(どうしてそんなに自分に都合の良いように考えられるのかなあ)

ところが、まあ世の中はそんなもので、追い越してすぐに滅多にない信号があり、それも赤信号であった。信号で止まった途端、後ろの車から若い兄ちゃんが降りてきて、私の車に近づいてきた。トントンと運転席の窓を叩くので、何事だろうと窓を開けるといきなり胸元をつかまれ「こりゃあ、なんかお前は。交通ルールを守らんか！」とどやされた。「なんだと。とろとろ走るあんたが悪いんやろうが！」と言おうと思ったがさすがに如何にもやくざ風の格好のお兄さんにビビってしまって、「済みませんでした。気をつけます」と答えた。(な、情けない。でも、まあ賢い対応だといえはいえるわね。最初から追い越しなんかしなければ済んだ話しなんだけどね。)

その後気まずい雰囲気の話が続き最後に「とにかく、交通ルールは守れよ！」と言い残してお兄さんは自分の車に戻っていった。うーんヤクザ屋サンに社会のルールを教えられるとは。複雑な気持ちでその後の運転を続けたが、この夜の教訓として、車を見たときはどんな運転手が乗っているかまでは分からないから、うかつに挑発するような運転とか、乱暴な運転はしないほうが良いという実につまらないようではあるが、意外と大事なものであった(そういえば、クラクション殺人事件なんてのもあったしね。歩道を歩いている時は怖そうな面相の人には近づかないけど、車に乗っている人がコワイ人かどうかは分からないものね。確かに気をつけたほうがいいわね)

そういう昔のことが瞬間的に蘇って、いま高速道路で並行して走っている白い大型車の助手席のやばそうな顔の人間を見てビビルのはまた当然であったかもしれない。

などつまらない回想が頭をめぐったその直後、その白い大型車はさっと私の車の先を行き、しばらくして車の屋根に回転灯を出してそれまで私の前を走っていたトヨタウィッシュに追いついてウィッシュを停車させた。そうなのだ、なんと覆面パトだったのだ。クラウンだった。白いクラウンとスカイラインを見たら覆面パトだと思え、というのは日頃高速道路をよく利用するものにとっては常識。自分の車の前をゆっくりと走る白いクラウンやスカイラインを見たときはすぐに反応して間違っても高速度では追い越さないようにしているのだが、まさか、後ろから来ることがあるとも思いもしなかったのが今回の事件の伏線であった。(世の中で怖いのはそういう思い込みね。思いもしない時にいろいろな事件や事故は起こるものなのよ。医療事故なんかその典型じゃないかしら)

それにしても、あの時、バックミラーをみて近づいてくるクラウンに気がついてすぐ追い越し車線から走行車線に戻らなければ、そのまま回転灯の餌食になっていたのは自分であったと思うとぞっとしたり、ほっとしたり。私と同じように走っていて捕まったウィッシュの運転手に同情したり、あほ一、交通ルールは守らんか、と叫んだり。

危なかったなあ。免許停止になれば、おおごとだった。これまた昔の免許停止 45 日の悪夢が蘇ってきた。車の運転は出来ないわ、懲戒処分は受けるは、罰金は沢山取られるわでさんざんだったことを、その後無事故無違反の安全運転を続けていた優良ドライバーの私は忘れてしまっていたのだ。でも、幸いに歴史は繰り返す、ことはなかった。

みなさん、くれぐれも安全運転を。(安全運転もだけど交通ルール遵守をね。だいたい高速道路を 80 キロ/時でとろとろ走ると眠気が来たりしてよけい事故の元だとか思っているひとだものね、あなたは。まずその考えを改めることね)

日本に生まれて幸せ 平城エミ

人は生まれてくる国も、親も選ぶことは出来ない。日々新聞紙上や、テレビで放映される事件や、世界の情勢を見聞していると、やりきれない思いに、捉われることが多過ぎる。人はどうしてこう性懲りもなく争い、殺しあわねばならぬのか。限りもなく金を欲しがるとのか。コソボ、東チモール、ウガンダ等の紛争に垣間見る、民族、宗教、それ等の背後にひそむ歴史的怨念の深さは、島国の同一民族国家で、の一てんきに暮らしている吾々には、想像もつかぬものである。平和に狎れ、飽食になれば、不景気とは云えその日の暮らしに、さして不自由というものを知らぬ日々の中で、金さえ手に入れば、吾が子さえ殺す人間の愚かさも、また想像の外である。にも拘わらず、私はこの国に生まれたことの幸せを、思わずにはいられない。日本は有り難い国である。この幸せを絶対壊してはならない。(空に咲く花より抜粋)

編集後記

もうすぐ北京オリンピックですが、日本国内ではいまひとつ盛り上がり欠けるような印象があります。今はオリンピックどころではなく、ガソリン代の上昇、相変わらず混乱している年金問題、食料品を中心とした物価上昇、食料品の偽装事件、漁業の一斉休漁、いつもの(?) 上級公務員の居酒屋タクシー問題、見境のない通り魔殺人事件、例外的でなくなってきた親殺し、子殺し事件、後期高齢者医療制度の問題、医療崩壊、ワーキングプア問題、などあまりにも暗い問題が多すぎるせいかもしれませんね。

こういう閉塞状況のときに気分を一気に明るくしてくれるのがスポーツだと思いますので、是非北京オリンピックでの日本選手の活躍に期待したいと思います。真夏の夜の夢をみてみたいものです。